



# きらり



*For The Future of Children*

地域連携情報誌



vol.33  
2021年11月

いのちの誕生から生涯にわたって地域住民の健康を支え、頼られる病院であり続けます



# 専門的かつ高度医療を 提供する責務

周産母子センター 副センター長(兼)  
小児科 主任科部長(兼)  
小児在宅医療支援センター センター長

もり さわ たけし  
森 沢 猛

当院小児科は、出生直後の新生児から、成人に至るまでの全小児期に渡り、東播磨地域におけるこどものころとからだの健康を守り、専門的かつ高度な医療を提供する責務を担っております。

当院はWHO/UNICEFより施設として赤ちゃんにやさしい病院「Baby Friendly Hospital (BFH)」に認定されており、小児科と産婦人科のみならず、病院全体で連携して、両親、家族と出生した新生児との安定した愛着形成を大切に、健やかな人間形成を目指して多職種でサポートを行っています。

周産期センター（新生児部門）はNICU15床、GCU30床の計45床を有し、地域周産期母子医療センターとして24時間365日、病的新生児の受け入れを行っています。地域の医院、病院におけるリスクの高い分娩への立ち会いや病気の新生児の受け入れも、新生児専用救急車（カンガルー号）で対応しています。当院では複数の診療科との連携を通して、ほぼあらゆる新生児疾患に対応できる体制を整えており、東播磨、北播磨地域における新生児医療の中核施設として、赤ちゃんの命を守ります。

当院周産期センターにおける他施設にない特徴としてベビーセンター内でのリハビリと心理支援があります。入院となった病的新生児は筋緊張の異常や哺乳不良を合併しやすく、専任の理学療法士、作業療法士、言語聴覚士が適宜リハビリを行っています。また、家族と児の絆が危険にさらされる周産期の早期から臨床心理士がハイリスク児と家族への心理支援をベッドサイドで行っています。

小児センターは56の病床を持ち、成長過程にある小児の感染症、腎疾患、代謝内分泌疾患、神経疾患、アレルギー疾患、気道疾患、心疾患、他多彩な疾患に、専門医師や複数の診療科との連携を通して高度で専門的な治療を行っています。また、24時間365日小児の二次救急医療を受け入れしています。

当院小児科の他施設にない特徴として専門小児科医による気道疾患の診療があります。哺乳嚥下不良、体重増加不良、呼吸障害などの症状に潜む気道疾患について、気道外来や入院で、小児用気管支ファイバースコープや、SpO<sub>2</sub>解析を用いて診断と最適な治療を選択しています。

NICU、GCUやこどもセンターを退院後に在宅で医療的ケアを必要とする小児患者は年々増加しています。在宅医療へのスムーズな移行と継続を支援するために小児在宅医療支援室が設けられており、空床を利用して短期入所の受け入れをしています。

昨年より拡大する新型コロナウイルス感染は、こどもの心にも影を落としています。このコロナ流行の困難な時代の中でも、将来の日本を担うこどもたちの、こころとからだの健康を守ってまいります。



こどもたちへ、専門的かつ高度な医療を提供します。

**アレルギー外来**

【担当】  
橋本、二階堂、松本

**フォローアップ外来**

【担当】  
森沢、高寺、小寺

**腎外来**

【担当】  
藤村

**神経外来**

【担当】  
親里、沖田、金川

**気道外来**

【担当】  
小寺

**内分泌代謝外来／在宅外来**

【担当】  
西山

**血液外来**

【担当】  
長谷川

**循環器外来**

【担当】  
藤田  
上村  
則武



外来担当表【病診連携医師(●…FAX予約 ◆…WEB予約)】

診療科	月		火		水		木		金	
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
小児科	親里 嘉展 ●◆	西山 敦史 (内分泌)	森沢 猛 ●◆	藤村 順也 (腎臓)	橋本 総子 ●◆	西山 敦史 (代謝) (第1.2.4.5)	西山 敦史 ●◆	長谷川 大一郎 (第1・3) (血液) 小寺 孝幸 (第2・4) (気道)	沖田 空 ●◆	西山 敦史 (在宅療養)
	担当医	小寺 孝幸 (気道)	担当医	西田 浩輔 (フォローアップ)	担当医	高寺 明弘 (フォローアップ)	担当医	森沢 猛 (フォローアップ健診)	担当医	呉 東祐 (フォローアップ)
	担当医	沖田 空 (第1・3) (神経) 金川 温子 (第2・4) (神経) 担当医 (第5) (神経)	担当医	沖田 空 (神経)	担当医	親里 嘉展 (神経)	担当医	金川 温子 (神経)	担当医	親里 嘉展 (神経)
	心エコー外来	佐々木 香織 (神経)		上村 和也 ●	則武 加奈恵 ●	沖田 空 (第2) (神経) 金川 温子 (第4) (神経)	藤田 秀樹 ●		上村 和也 ●	藤田 秀樹 ●
	松本 和徳 ● (第1・3・5) 橋本 総子 ● (第2・4) (アレルギー)	担当医 ● (循環器)		二階堂 量子 (アレルギー)	親里 嘉展 (神経)	二階堂 量子 ●	橋本 総子 (アレルギー)	藤村 順也 (腎臓)	松本 和徳 (アレルギー)	

# 小児入院治療

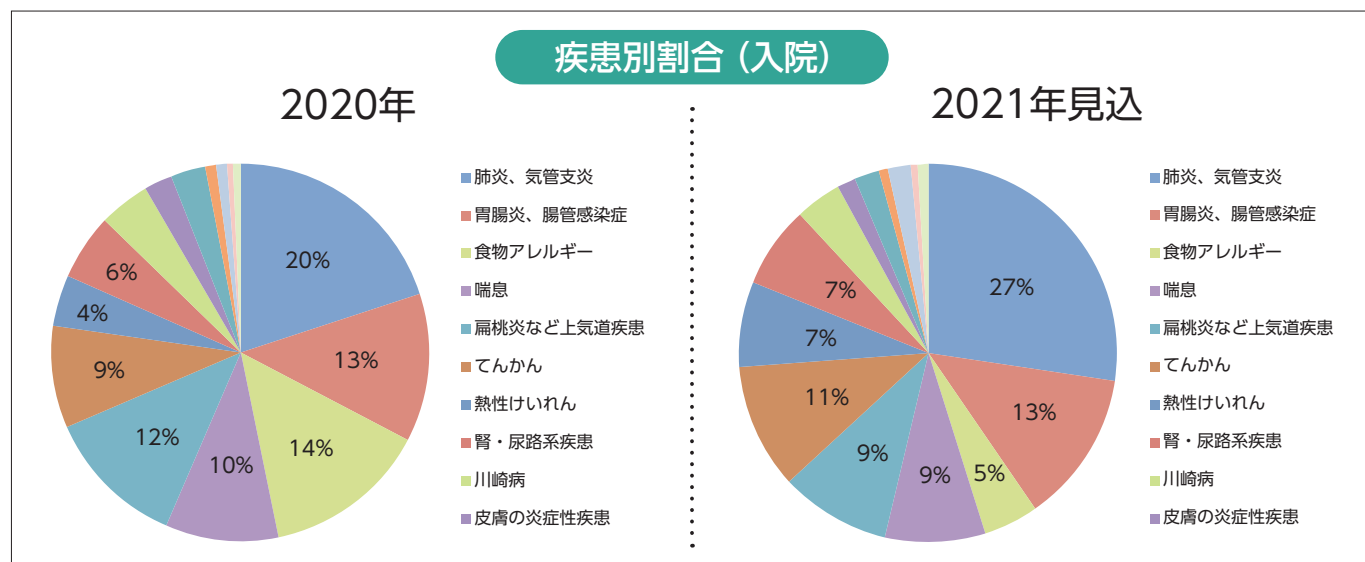
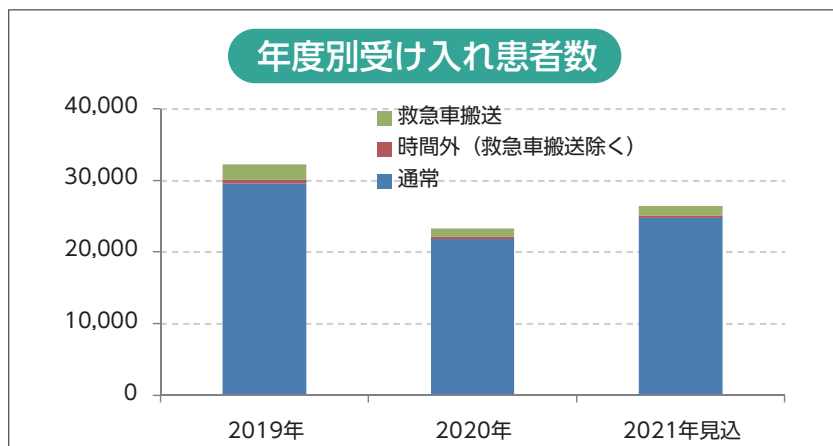


切れ目のない一貫した医療の提供を目指します。



当院はNICU、GCU、こどもセンター、在宅へと切れ目のない一貫した医療体制を目指しています。東播磨地域の中核小児医療施設として、高度かつ専門医療、二次救急医療に積極的に取り組んでいます。小児外科、小児に関する診療科との連携を密に行い、こどもの発達段階に応じて、総合的な医療を提供します。

また医師のみならず、臨床心理士（公認心理師3名）、保育士が常駐し、心理支援や発達相談、日常生活の支援を行い、虐待事例や養育困難例などの問題に対しては、医師、看護師、心理士、栄養士、理学療法士、社会福祉士など多職種でカンファレンスを行い、チーム医療を実践しています。



# 新生児医療



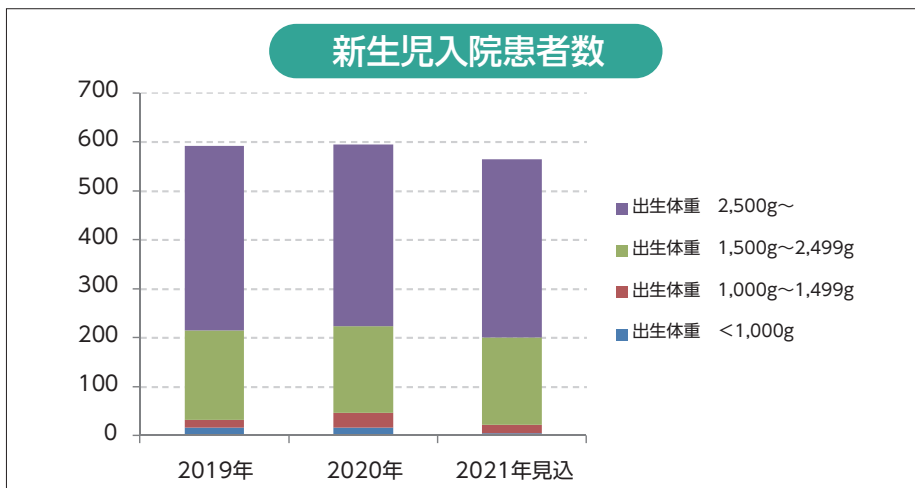
こどもたちの人生のより良いスタートの一助となれるよう  
母乳育児の考え方の普及を通し、  
母子、家族と児のよりよい安定した絆作りをサポートしています。



新生児疾患には医師4名（うち3名は日本周産期・新生児学会専門医（新生児））で対応しており、東播磨・北播磨地域における周産期・新生児医療の中核施設として24時間体制で多数のハイリスク新生児の受け入れを行っています。NICU内には家族と同室できるファミリールームを設けて家族指向の診療を提供できる環境を整えています。



赤ちゃんにやさしい病院  
(ユニセフ認定)



妊娠中に両親学級を通し母乳育児の考え方を伝え、安定した家族関係の中で、こどもの健やかな人間形成が進むように支援しています。

早期の母子接触、母子同室、NICU入院で母子分離例ではNICU内で急性期以降にモニタリングしながら両親に児を抱っこしてもらったり、直接授乳していただくカンガルーケアや、退院前にこれからの育児に不安を感じている母親を対象に同室でケアを確認し、母子の絆の安定化を目的とするカンガルー入院を行なっています。



# 小児科×小児外科・小児循環器内科

## 他の診療科とのシームレスな連携で対応しています。

兵庫県で3番目に小児外科学会認定施設に指定されてから10年以上経過しました。九州大学小児外科から派遣してもらった指導医の先生と神戸大学小児外科から派遣の若手医師を含め、常勤医師3名、非常勤医師1名の4名体制で診療を行っています。常勤医師が3名となったことで、救急外来等で緊急の手術を要する場合にも対応できるようになりました。また、小児科・小児外科から成人医療に移行した患者さんが徐々に増えてきておりますが、必要に応じて小児外科へのコンサルトを受け続けることで、移行期支援がスムーズにすすめられ混乱のないようにしています。

地域医療機関のみなさまには、今後ともどうぞよろしく申し上げます。



### 外来担当表【病診連携医師(●…FAX予約 ◆…WEB予約)】

診療科	月		火		水		木		金	
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
小児外科	中尾 真●◆	安福 正男	久野 克也●◆		安福 正男●◆	中尾 真	安福 正男●◆		中尾 真●	

2020年4月から小児循環器内科として、先天性心疾患、不整脈、心筋症、川崎病冠動脈後遺症など小児期の循環器疾患の診療を担当しております。

加古川西市民病院時代から当院の新生児・小児の循環器診療や胎児心エコーに携わってございました佐藤医師が異動となり、非常勤医師の応援を得ながら診療体制を維持しております。

稀少疾患や高度医療はこども病院や大学病院などへの集約化が進められておりますが、他科や他施設と連携をとりながら、少しでも多くの疾患を地域で完結できるよう、また成人期への移行医療もスムーズに行えるように体制のさらなる充実を目指して参りたいと存じますのでご支援のほど、よろしく申し上げます。



### 外来担当表【病診連携医師(●…FAX予約 ◆…WEB予約)】

診療科	月		火		水		木		金	
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
小児循環器内科				上村 和也● (循環器)	則武 加奈恵● (循環器)		藤田 秀樹● (循環器)		上村 和也● (循環器)	藤田 秀樹● (循環器)

# 連携医紹介

当院と連携いただいている医療機関をご紹介します。

## みんなの加古川クリニック

診療科：内科

本年9月1日訪問診療を中心とした『みんなの加古川クリニック』を野口町良野に開院しました石井です。看護師一名事務二名と和気藹々楽しく活発な意見交換をしながら職務に邁進しております。末期癌患者様、神経難病患者様等入院中の方が在宅で過ごしたいと思われた時に当院が少しでも患者様と御家族様の手助けになれる様努めてまいります。丁寧な説明と診療を心掛け、患者様や御家族様が住み慣れた生活の場で少しでもほっと出来る時間を提供できる訪問をしていきたいと思っています。その為に地域で在宅医療に関わる全ての方々とのコミュニケーションを大切に考えておりますので気軽にご相談頂けるクリニックを目指していきます。まずは電話対応させて頂き、必要時は看取りも含め365日24時間いつでも往診出来る体制をとっています。



院長 石井 好之 先生

胃瘻経鼻経管栄養・気管カニューレ・在宅レスピレーター・在宅酸素・麻薬ポンプや内服麻薬を用いた緩和ケア・中心静脈栄養・褥瘡デブリドメント・腎瘻膀胱瘻管理・膀胱留置カテーテル管理等可能ですが出来るだけ希望に沿った在宅医療を心掛けていきますので、加古川中央市民病院並びに地域の関係者の方々何卒宜しくお願い致します。



所在地：加古川市野口町良野1504番地  
アベニュー2階

駐車場台数：2台

TEL.079-441-7106

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00-18:00	○	○	○	○	○	-	-

※外来診療に関しては、「予約制」とさせていただきます。

## 登録医のご案内

当院では、地域の医療機関の皆様と共同して、より良い医療を提供していくために『登録医制度』を実施しております。現在は350名を超える地域の先生方に登録して頂いております。

医療連携をさらに充実させ、地域住民の要望に応じていきたいと考えておりますので、ご登録でない先生方におかれましては、ご検討いただけましたら幸いです。なお、当院ホームページにも登録医一覧を掲載させて頂いております。

登録医の先生方には、

- ①開放病床のご利用・開放病床入院患者の手術、検査の立会・当院の診療録等医学資料の閲覧が可能となります。
- ②当院が主催する学術講演会、カンファレンスなどへ自由に参加でき、当院所有の図書閲覧、複写も可能となります。
- ③インターネット予約をご利用いただけます。

## 患者面会のご案内

### 当院への来院時の流れ（ご紹介患者の面会）

- 1) 平日時間内であれば、患者支援センターにある入院支援窓口にお越しください。休日・時間外であれば、総合案内または時間外受付にお越しください。
  - 2) 窓口にて上記の開放病床登録医登録証の提示をお願いします。
  - 3) 病室に入られる際には、ご持参頂いた登録証を面会カードに入れていただきます。
- ※スムーズにご案内するためにも事前に当院への来院が予定されている場合には、地域連携室に連絡をお願いします。患者さんへの面会は、当院の面会手順にそって対応しますので、ご面会できない場合もありますのでご了承をお願いします。



## 国立がん研究センター認定がん相談支援センターに認定されました。

国立がん研究センターでは「がん診療連携拠点病院等の整備指針」に定められているがん相談支援センターの要件を満たしているだけでなく、提供する支援サービスの質を維持・向上させていくための体制整備に努めているか、相談対応を検証し評価・改善活動に取り組んでいるかなどについて、一定の基準を満たした施設を「国立がん研究センター認定がん相談支援センター」として認定しています。



2022年1月より当院も認定を受け、認定がん相談支援センターとして活動を開始します。現在もがん相談支援部門内に「認定がん専門相談員」「がん相談対応評価表を用いた相談対応の質評価に関する研修」を受講した相談員を2名配置しており、「信頼性の高い」「安全な」情報を用いて、患者・家族がより良い意思決定や行動をとれるよう支援しています。

## オンライン病院訪問を開始しました。

近年、コロナ禍において、対面での訪問、面会が困難な状況が続いている中、地域の医療・介護関係者の皆様と顔の見える関係を築き、地域連携を強化していきたいと考え、オンライン病院訪問を開始することとなりました。感染防止に配慮しながら、Zoomを用いて医療・介護関連施設の方々と情報交換を行いたいと考えています。ご希望の施設の方は下記までご連絡ください。よろしくお願いいたします。

